

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-107	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
130 二宮	地図706	基本地図帳		

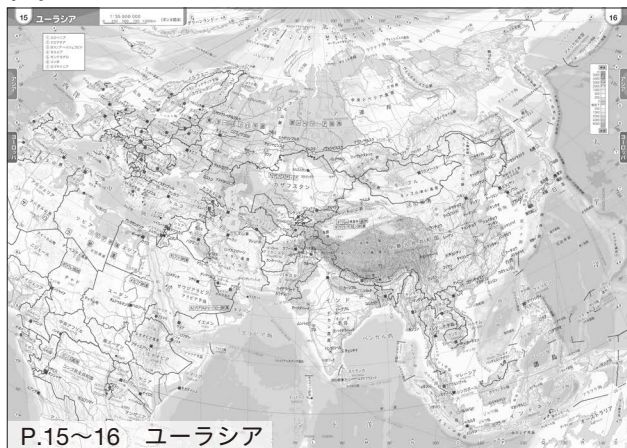
1. 編修の基本方針

世の中の情勢を学ぶにはまず“どこ”で起きた出来事なのかを知る必要があります。その“どこ”がわかるようになるためには日ごろから地図に慣れ親しみ、有効に活用することが大切だと考えます。

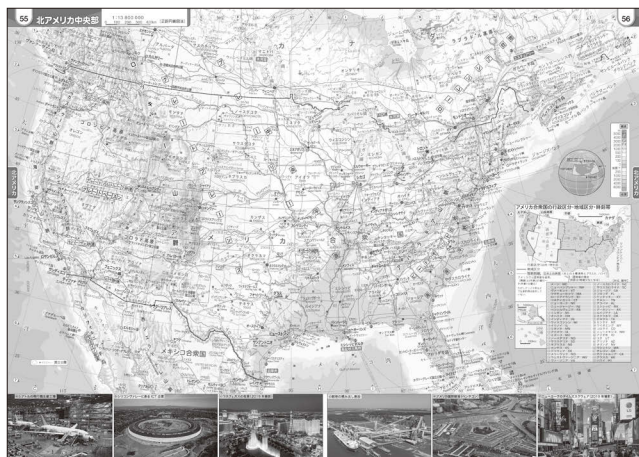
本地図帳は諸外国と日本の位置関係や結びつき、各国の現状や課題など多岐にわたる地理的な見方・考え方および地図を活用する技能を培うことを目的とし、地理歴史科だけでなく他科目・他教科ひいては今後の進路にも役立てるような知識を身に付けることができるようになることを念頭に置いて編修しています。

① つながりや位置関係がわかりやすく、見やすさを追求した世界地図

(1) 大きな判型を生かした一般図



大判にしかできないような文字の大きさや広い範囲の図取りにより、誰にとっても見やすく、わかりやすい一般図になっています。「ユーラシア」「南シナ海周辺」「カフカス地方」「アンデス地方」「ブラジル主要部」を掲載し、世界のつながりが一望できるような地図、紛争が起きているような地域や鉱山が集中する地域など何かと話題になることの多い地域をより詳細に見せることで世界の位置関係、空間把握能力を養いながら社会的関心を持てるようにしています。



(2) 一般図と写真を組み合わせた紙面構成

世界に興味・関心が持てるよう各地域に関連する写真を一般図とあわせて掲載しました。特定の国や地域を象徴する写真をあわせて見ることで、その場所がどういうところなのかをイメージしやすくし、また記憶に残りやすくなるようにしています。

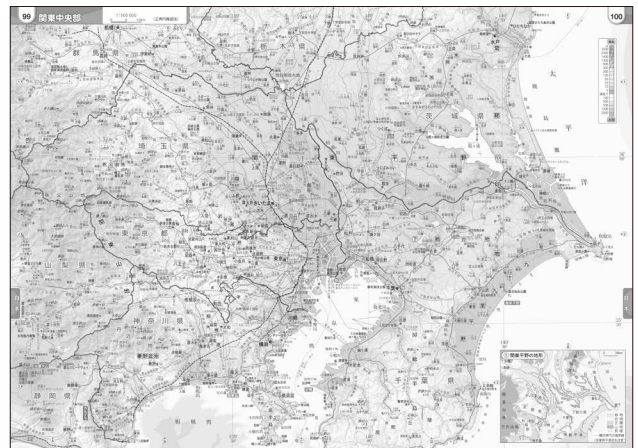
◀P.55~56 北アメリカ中央部

② 新たな発見・見方のできる日本地図

(1) 各地方を見るのに最適なスケール・図取りの一般図



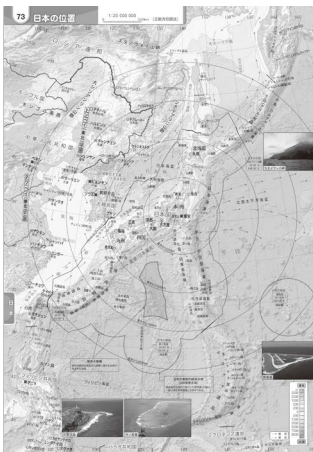
▲P.81～82 中国地方



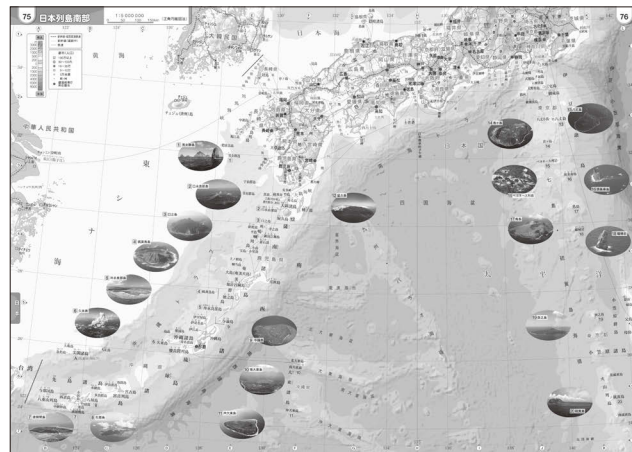
▲P.99～100 関東中央部

日本の一般図では大きな判型を生かし 47 都道府県が図取りで切れることなく見られるように掲載しています。また対馬や隠岐諸島、佐渡島なども正位置で見ることができます。また人口集中地区である関西・関東には「近畿・中京」「関東中央部」という拡大図を設け、ゼロメートル地帯や微細な標高の違いがわかるように配色を工夫しています。

(2) 日本の領土や周辺諸国とのつながりを見て取れる地図



左 P.73 日本の位置



右 P.75～76 日本列島南部

日本の国土と周辺諸国が一望できる「日本の位置」に東西南北端の写真を掲載し、日本の国土を視覚的に理解できるようにしています。また「日本列島南部」「日本列島北部」では日本には数多くの島があることを意識づけることができるよう島の写真を一般図中に配しました。

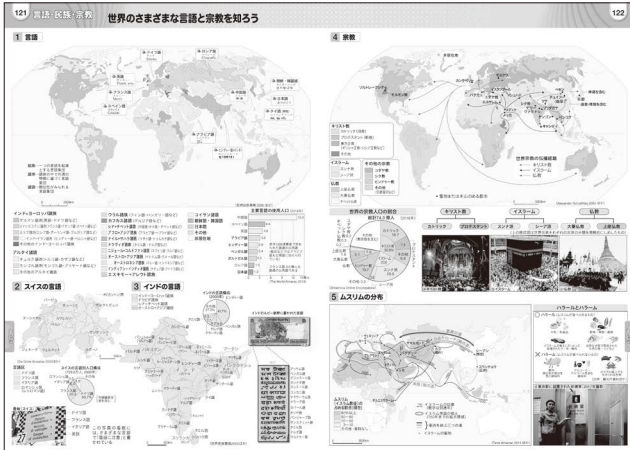
(3) 土地利用と地形をあわせて眺めることができる都市図



◀P.93～94 名古屋、名古屋の地形

札幌、東京、名古屋、大阪、広島など 18 の詳細な都市図を収録しています。各都市の土地利用や都市の形態を確認しながら、日本の政治・経済・歴史的拠点となっている大都市の現況を知ることができます。さらにその中の 9 都市については標高による段彩だけで表現した図もあわせて収録し、どのような地形の上に各都市が成り立っているのかが見ることができます。

③ 1テーマを1見開きでまとめ世界の基本を知ることのできる主題図

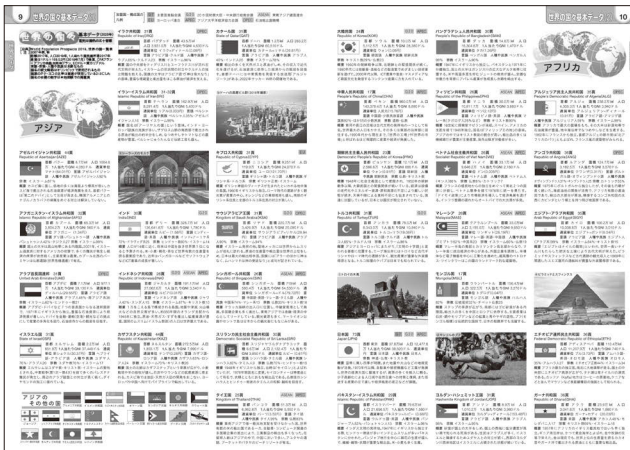


主題図では各テーマの基本をわかりやすく簡潔に見ることができるよう、1つのテーマを1見開きで構成しています。「言語・民族・宗教」「民族・領土問題」「人口・人口問題」「農牧業・食料問題」「資源・エネルギー・産業」「環境問題」「国家間の結びつきと経済」など地理学習に必要な内容を取り上げています。

◀P.121～122 言語・民族・宗教

④ 地図帳を見たくくなるような要素を多数収録

(1) 地図帳の導入におもな国の概要をつかめる「世界の国々基本データ」を掲載



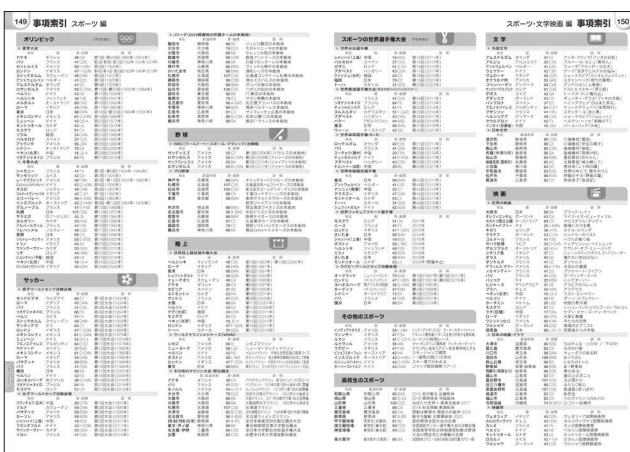
本地図帳では一般図の前に「世界の国々基本データ」というページを設けました。主な国の人口や面積などの諸データとともにその国の概要や写真、また全独立国の国旗を掲載することで世界の国への興味を持たせ、基礎的な知識を身につけることができるようにしています。

◀P.9～10 世界の国々基本データ

(2) 主題図や統計資料にも豊富に写真を収録

一般図だけでなく主題図や統計資料にもそれぞれのテーマに沿った写真を多数掲載し、グラフや統計数字を視覚的に補えるものになっています。

(3) さまざまな項目から地名を探ることができる「事項索引」を掲載



「スポーツ」「文学」「映画」「文化」「生誕地」「歴史」「政治経済」とさまざまな分野に関連する地名を一般図中から検索できるような索引を掲載しています。学生の興味のある分野から世界や日本の都市を探すことにより、地名に対する関心を高めることができます。また地名に関連する事象を学ぶことでより記憶に残り知識の拡充にもつながります。

■P.149～150 事項索引

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界の国々	冒頭のページにて世界の独立国の全てを見られる図を掲載し、一覧性を高めて知識の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.1～2
日本の行政区分 日本の位置	我が国の国土の現状や周辺諸国との位置関係が理解できるようにしています。(第五号)	P.3 P.73
世界の国々基本データ	世界の独立国全ての国旗を掲載するとともに、おもな国については統計資料や説明文を利用して日本を含む独立国の概要を知ることができるようにしています。(第五号)	P.9～14
世界の一般図 ユーラシア、東アジア、中国東部、ペキン周辺、長江下流域、珠江下流域、台湾、朝鮮半島、東南・南アジア、南シナ海周辺、南アジア、ガンジス川下流域、西アジア・中央アジア、イスラエル・パレスチナ周辺、カフカス地方、アフリカ、地中海、ヨーロッパ、西・中央ヨーロッパ、ヨーロッパ東部、イタリア・バルカン諸国、イギリス・アイルランド、北ヨーロッパ・アイスランド、スイス、ユーラシア北部、北アメリカ、北アメリカ中央部、アメリカ合衆国中・東部、アメリカ合衆国西部、中央アメリカ、南アメリカ、アンデス地方、ブラジル主要部、太平洋・インド洋、オセアニア、大西洋、北極・南極	世界の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて、知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.15～72 までの一般図部分
	おもな地形名称を取り上げ、世界のどのような地域に地理的特徴のある地形が存在するのかがわかりやすいようにしました。(第一号、第四号)	P.15～72 までの一般図部分
	世界の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ、他の地名と区別がつくような記号と色彩としています。(第四号)	P.15～72 までの一般図部分
	世界の一般図に国立公園の範囲を示す記号とその名称(一部)を取り上げています。(第四号)	P.55～59 P.69～70
	ヨーロッパの歴史や文化を考える上で役立つ聖堂・教会、宮殿・城の記号を掲載しています。(第四号)	P.41～42
	一般図には遺跡・史跡や名所をそれぞれ赤字、青文字にすることでわかりやすくなるような表記を用いています。(第五号)	P.15～72 までの一般図部分
日本の一般図 日本列島南部、日本列島北部、沖縄本島・南西諸島、九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方、近畿・中京、中部地方、関東地方、関東中央部、東北地方、北海道地方および各都市図	日本の国土や環境の様相にかかわる事柄を一般図中に取り上げて、知識や教養の定着と正しい空間認識が身につくようにしています。(第一号)	P.74～108
	日本の一般図に世界遺産の記号と名称を取り上げ、他の地名と区別がつくような記号と色彩としています。(第四号)	P.74～108
	日本の一般図に国立公園・国定公園の範囲を示す記号とその名称、ラムサール条約指定地を示す記号を取り上げています。(第四号)	P.74～108
日本主題図	農業など産業に関係する図を取り上げ、人間生活や産業との関わりを考察できるようにしています。(第二号)	P.110

日本の自然環境と災害 身近な地形 気候・植生・土壌 世界の自然災害 世界の地形	地球温暖化や大気汚染などのテーマから、地球の自然環境の保全や自然を保護していこうとする姿勢を養える内容にしています。(第四号)	P.111～118 P.164～166
世界の衣・食・住 言語・民族・宗教	世界の衣食住や言語・宗教がどのように分布しているのかを知ることができる主題図を掲載することで、世界の文化がわかるようにしています。(第五号)	P.119～122
民族・領土問題 人口・人口問題 農業・食料問題 資源・エネルギー問題 環境問題 世界の結びつき	農業や工業など産業に関連する主題図を設けることで、産業が人間生活とどのような関わり合いにあるかを考察できるようにしました。(第二号)	P.123～134
	人口・貿易・環境など今日の社会を現した内容の主題図を取り上げ、社会への興味や関心、社会参画への意識を持てるようにしています。(第三号)	P.123～134

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①地図を見るための工夫

大州ごとに見出しやタイトルのデザイン、インデックスの色を統一することで、地図を探しやすくまた目的のページにたどり着きやすくなるようにしています。

世界の一般図にはインデックスマップを設け、今見ている場所が地球上のどの位置なのかを判断しやすいものにしています。また隣接地域が何ページにあるのかを示し検索性を上げています。

②すべての方に見やすい、読みやすい文字仕様

一般図の地形表現から主題図まで地図帳全般を通して、ユニバーサルデザイン(UD)のフォントを主体としています。また、地名などの文字を見やすく、読みやすいものにするため明るい色彩の紙面構成になるよう努めました。なお、地図学習において重要である国名や首都名、都道府県名は文字のサイズを大きくし白い縁取りをして、他の地名との差をつけ目に留まりやすく、検索しやすいようにしています。さらに色合いの濃い下地の上に置かれることの多い山地・山脈名や同色の下地の上に置かれる海洋名などにも白い縁取りをつけ色覚特性のある方に対しても配慮しています。

③地名表記の精選

本地図帳では多数の学術書ならびにインターネット上にてより多く取り上げられている地名表記や現地音に近い地名表記を比較検討し、世間的に認知度の高い地名を掲載しています。

④長期の使用に対応した用紙と製本

高等学校において地図帳は3年以上の継続的な使用が考えられるため、その使用期間に耐えられる用紙の選定や頑丈な製本方式による造本を心がけています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-107	高等学校	地理歴史	地図	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
130 二宮	地図706	基本地図帳		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本地図帳は学習指導要領「地理総合」「地理探究」を参考にして作成するとともに、主題図の項目は系統地理学的視点から配列をしていますが、地誌学習にも十分対応できるようにそれぞれの項目には地域ごとの詳細な図版も掲載しました。

(1) 一般図について

○世界の一般図に収録した世界遺産、国際空港、日本から直行便のある空港、高速自動車国道、戦跡、遺跡・史跡、ロケット発射場などと、日本の一般図に収録した政令指定都市、中核市、世界遺産、ラムサール条約指定地、名所・名勝、史跡・遺跡、テーマパークなどの名称は、記号・文字囲みや色を用いて示すことによって、一般の地名と一目で区別できるようにしています。さらにこれらの地名などを増やすことによって、地理の分野だけではなく、歴史総合や公共の授業においても効果的に利用できるようにしました。

○日本の一般図では、縮尺を100万分の1と115万分の1（北海道地方、東北地方を除く）とし、拡大して見せる地域と範囲を広くして見せる地域に分けて掲載しています。これにより47都道府県すべてが図取りで切られることなく見るできるようになっています。人口が集中して地図情報が過密な関東中央部と近畿・中京については50万分の1の拡大図で補っています。これらの一般図は、学校における授業だけではなく日常生活においても広く利用できるように配慮し、最新の資料を収録して、普遍性の高い、辞書的な役割を持たせました。

(2) 主題図について

○地形や気候などの自然環境は、地理の分野の中でも基礎・基本となるため、世界主題図の先頭に配置しました。また、地理総合では自然環境と防災が設けられていることを考慮し、巻末に世界の地形とともに自然災害を学ぶページを、日本主題図には火山や地震の図を設けています。

○言語・民族・宗教、農林水産業、資源・エネルギーなど世界主題図のページについては、地理総合、地理探究ともに地球的課題を扱っているため、人口問題や環境問題を包括できるような内容にしたり、環境問題のように独立したページを設けてたりするなどの配慮をしています。

○日本の主題図では、自然・人口・産業などさまざまなテーマの主題図を掲載して、多面的に日本を捉えられるようにし、農業分野では、写真やイラストを併記して親しみの持てるものとししました。

(3) 統計資料・索引について

○統計資料については、基本的な事項を取り上げ、世界各国の最新データが読み取れるようにし、索引については国名や首都名、県庁所在都市などに着色や太字を用いて検索しやすいようにしています。

○スポーツ、文学・映画、文化・生誕地、歴史・政治経済のテーマ的索引を設けることで、より地名への関心を高めるようにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
世界の国々 等時帯	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 B(1) 現代世界の地域区分	P.1～2	
日本の都道府県 日本の位置	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理探究 C(1) 持続可能な国土像の探究	P.3 P.73	
球面上の世界	地理総合 A(1) 地図や地理情報システムと現代世界 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(3) 交通・通信, 観光	P.7～8	
世界の国々基本データ	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.9～14	
世界の一般図 (ユーラシア～北極・南極)	世界の一般図については, 高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成。	P.15～72 の 一般図部分	
日本の一般図・都市図 (南西諸島～ 北海道地方)	日本の一般図については, 高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成。 都市図は, 高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.74～108 の 一般図部分	
日本主題図	地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境 地理探究 A(2) 資源, 産業 地理探究 A(3) 交通・通信, 観光 地理探究 A(4) 人口, 都市・村落 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域 地理探究 C(1) 持続可能な国土像の探究	P.109～112	
世界の地形 身近な地形	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1) 自然環境と防災 地理探究 A(1) 自然環境	P.113～115 P.165～166	
気温と降水量 気候・植生・土壌	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(1) 自然環境	P.116～118	
世界と日本の衣食住	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教 地理探究 B(2) 現代世界の諸地域	P.119～120	
言語・民族・宗教	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教	P.121～122	
民族・領土問題	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(5) 生活文化, 民族, 宗教	P.123～124	
人口・人口問題	地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(4) 人口, 都市・村落	P.125～126	
農牧業・食料問題	地理総合 B(1) 生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2) 地球的課題と国際協力 地理探究 A(2) 資源, 産業	P.127～128	

資源・エネルギー	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(2)資源, 産業	P.129~130	
環境問題	地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(1)自然環境	P.131~132	
国家間の結びつきと経済	地理総合 A(1)地図や地理情報システムと現代世界 地理総合 B(2)地球的課題と国際協力 地理探究 A(3)交通・通信, 観光 地理探究 B(1)現代世界の地域区分 地理探究 B(2)現代世界の諸地域	P.133~134	
地図の歴史と 地図投影法	地理総合 A(1)地図や地理情報システムと現代世界	P.135~136	
統計資料	左に示した統計資料は, 高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.137~148	
事項索引 地名索引 (世界), 地名索引 (日本)	左に示した索引は, 高等学校教科用図書検定基準 [地理歴史科「地図」] に基づいて作成した一般図の補助資料として掲載。	P.149~163	
地質年代表	地理総合 B(1)生活文化の多様性と国際理解 地理総合 C(1)自然環境と防災 地理探究 A(1)自然環境	P.163	
世界の自然災害	地理総合 C(1)自然環境と防災 地理探究 A(1)自然環境	P.164	